

2021年度 南中文化祭

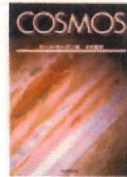
先生方に「おすすめの本」を紹介していただきました!!

黒川 光彦 校長先生
おすすめ本

『COSMOS』
カール・セーガン / 著

データをもとにした、壮大な宇宙の物語。

大学時代に夢中になって
読んだ記憶があります。



早田 昌彦 教頭先生
おすすめ本

『新 歴史秘話ヒストリア』

NHK「歴史秘話ヒストリア」制作班 / 編

NHKで放送されていた番組の内容が出版されたもの。
それだけ内容が面白いと反響が
大きかったのでしょう。

歴史のかくされたストーリーが
たくさんつまっています。
全20巻です。



藤田 直浩 先生
おすすめ本

『ゾウの時間 ネズミの時間
サイズの生物学』

本川 達雄 / 著

動物のサイズによって、機敏さや寿命が違ってくる。
ところが一生の間に心臓が打つ数は、
サイズによらず同じなのだそうです。

サイズから見た、生物学入門書。
読むと「なるほどなあ」と納得します。



堀岡 敏治 先生
おすすめ本

『夢をかなえるゾウ』
水野 敬也 / 著

大切なことを、
おもしろおかしく教えてくださいます。
普段、読書をしない私でも、
あっという間に
読んでしまいました。

読んでよかったです。



森山 博史 先生
おすすめ本

『三体』
劉 慈欣 / 著

この本を最後まで読めたら、
中学生を卒業できる!!

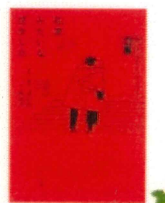


白崎 史哉 先生
おすすめ本

『花束みたいな恋をした』
坂元 裕二 / 原作・脚本 黒住 光 / 著

両脇をカップルにはさまれて映画を観ました。
2組とも映画が終わっても号泣していました。

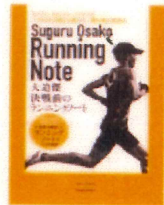
おそらく、「終わりのある恋」を
経験するみなさんへ・・・
等身大の恋を知ってください!



『決戦前のランニングノート』
大迫 傑 / 著

柴山 博貴 先生
おすすめ本

オリンピックで活躍し、6位入賞を果たした大迫選手。
どんな練習をしながら、何を思いながら、
大会に臨んだのか。
彼の競技への思いが伝わる一冊です。



練習量については、
「トップアスリートってスゴイ!」の一言。

『ミライの授業』
瀧本 哲史 / 著

荒井 啓臣 先生
おすすめ本

2019年8月に亡くなった作者に、
哀悼の意を込めて。

歴史を学ぶ意味、
ただただ、未来が楽しみに
なる本です。



『舟を編む』
三浦 しをん / 著

長山 杏佳 先生
おすすめ本

大人になってから、たまたま手にとって読んでみた
本の一冊です。新しい辞書の編纂(へんさん)に
人生をかける人たちの人間模様だけでなく、
何かに一生懸命になることの大切さを
気づかせてくれます。

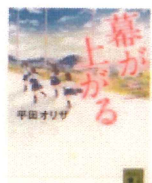


この本を読んだら、絶対「辞書」に
手を伸ばしたくなります!

『幕が上がる』
平田 オリザ / 著

高山 弥也 先生
おすすめ本

とある高校の演劇部を舞台に、部員たちと新任の
顧問の先生が描く、さわやかな青春ストーリーです。
主人公・さおりの考えや気持ちが細かく
描写されていて、物語にひきこまれます。



この本を読めば、ブザーの合図で
あなたの青春も幕が上がる!

『新 謎解きはディナーのあとで』
東川 篤哉 / 著

福岡 大晃 先生
おすすめ本

風祭警部が、さすがです!



『陽気なギャングが地球を回す』
伊坂 幸太郎 / 著

佐藤 亘 先生
おすすめ本

ギャンググループが銀行強盗をするお話ですが、
メンバーの「特徴」や「やり取り」が
おもしろおかしく描かれています。



わくわく、くすくすしながら
読めるので、ぜひ!

『水を縫う』
寺地 はるな / 著

坪田 真美 先生
おすすめ本

刺繍(ししゅう)の好きな男子高生、
かわいいものが嫌いな姉、
そして、父親になれなかった父親、
「やめとき」が口癖の母、
心の広い祖母。
普通になれなかった家族にまつわる
心があたたかくなるストーリーです。

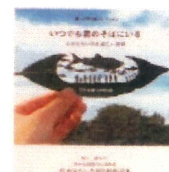


『いつでも君のそばにいる』
小さなちいさな優しい世界』
リト@葉っぱ切り絵 / 著

若林 京子 先生
おすすめ本

1枚の葉っぱから生み出される、小さな美しい世界。
繊細な技術で丁寧に作られた切り絵の可愛さはもちろん、1つ1つの作品に
物語があって引き込まれます。著者のリトさんのことも詳しく書かれていて、
読むと作品がより深いものに感じられます。

自分とじっくり向き合って、弱みを強みに変えていく、
勇気のもらえるお話でした。
本全体からリトさんのやさしい想いが伝わってきて、
あたたかい気持ちになります。
疲れた時にぼんやりと眺めるのもオススメです。
癒されたい人はぜひ!



『「手紙屋」 蛍雪篇』
~私の受験勉強を変えた十通の手紙~』
喜多川 泰 / 著

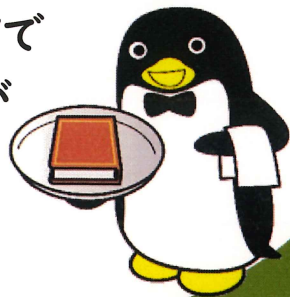
荒木 裕里香 先生
おすすめ本

本格的に受験勉強中の3年生にも、
受験を少し意識し始める頃の2年生にも、
まだ、受験と聞いてもピンとこない1年生
にもオススメの本です。



特に勉強に対するモチベーションが
上がらない人は、ぜひ読んでみて下さい。

おすすめいただいた本は、
南中図書館で
借りることができます！



矢口 佳奈 先生
おすすめ本

『あと少し、もう少し』

瀬尾 まいこ / 著

最後の駅伝に挑む寄せ集めの個性的なメンバーと、
陸上未経験の頼りない顧問、上原先生。

不器用で優しい登場人物たちが
絶妙に絡み合うこの作品に、
きっとあなたも夢中になります！



品野 由香里 先生
おすすめ本

『白鳥とコウモリ』

東野 圭吾 / 著

大好きな作家さんで、今までもたくさんの
作品を読んできましたが、結末がどうなるのか
すごく引き込まれた作品です。

ぶ厚い本ですが、
一気に読んでしまいました。



番場 亮一 先生
おすすめ本

『福井怪談』

三石 メガネ / 著

福井県出身の筆者が、福井の“怖い話”を集めた
短編集になります。

知っている地名がたくさん出てくること、
一話がとても短いことなど、
とても読みやすい内容です。

怖い話好きのあなたに
オススメの一冊です。



幸久 翔吾 先生
おすすめ本

『ざんこく探偵の 生きもの事件簿』

一日 一種 / 著

普段、道や公園で見かけて
「うわっ、グロいなー」と思ってしまふ、
少し不思議な生き物の死体や行動が、
実はその生き物にとって、長い歴史の
一番良い形であると教えてくれる本です。



菅原 水芳 先生
おすすめ本

『アリバイ崩し承ります』

大山 誠一郎 / 著

時計屋の店主が、幾つもの難事件のアリバイを
崩していく話です。

論理的にアリバイ崩しをしていく姿、
おもしろいです。



高木 真由美 先生
おすすめ本

『猫旅レポート』

有川 浩 / 著

秘密を抱いた青年が、人生“最後の旅”を
一匹の猫とするお話で、ポロポロ泣きました。

映画(主演:福士蒼太さん)にも
なりましたが、
ぜひ原作を読んで下さい！



長井 勇人 先生
おすすめ本

『君たちはどう生きるか』

吉野 源三郎 / 著

実は、先生はまだ読んでいません！
しかしyoutubeでオリエンタルラジオのあっちゃんが
紹介している動画を観て、読んでみたくまりました。

「どうして勉強しなきゃいけないの？」
この質問へのおじさんの答えが
素晴らしい！是非読んでみてね。



平野 さつき 先生
おすすめ本

『ありがとう、さようなら』

瀬尾 まいこ / 著

作者の中学校教員時代を描く、ほっこリエッセイ。

「ありがとう」と「さようなら」が
めまぐるしく襲ってくる、
学校という場所で過ごす日々は、
愛にあふれていた・・・



新町 桐先生
おすすめ本

『メモの魔力』 前田 裕二 / 著

たかが“メモ”と思いませんか？
それはもったいない!!

その“メモ”で、
あなたの夢が、やりたいことが、
実現できるならどうします??



メモの活用方法を知らないなら一読あれ。

畑山 達哉先生
おすすめ本

『BOX!』 百田 尚樹 / 著

ボクシングを通しての高校生青春記。
幼馴染の二人。一人は運動神経抜群、もう一人は
運動せずのガリ勉の優等生。

そんな二人のボクシングを通しての
壮絶な成長の物語。



読みだすと止まらない。

橋本 明子先生
おすすめ本

『ツナグ』 辻村 深月 / 著

一度だけ、生きている人と、死んだ人を
会わせてくれる「ツナグ」。
自分だったら誰に会って、何を話す
だろうと、考えながら読みました。



とても感動する話です。

牧田 光代先生
おすすめ本

『ローワンと魔法の地図』 エミリー・ロッド / 著

全5巻の「リンの谷のローワン」シリーズ第1巻です。
読書タイムなどに読んで、1年かけて
5冊読み切りました。



ファンタジーの冒険小説が好き人は、
ぜひ読んでみてください。

メーガン・
ルードウキ先生
おすすめ本

『Story of Your Life and Others』 あなたの人生の物語 Ted Chiang (テッド・チャン) / 著

This book is a group of 8 stories.
It is a sci-fi (science fiction) book about how important
language, math, religion are for human connection.
In 2016, the book was turned into a movie named "The
Arrival". It's very good, and I recommend you watch it!



この本は8つの物語が1冊にまとめられたものです。
SF (理科学) 作品で、言語や数学、宗教が人々とのつながりに
おいて、どれほど重要であるかが描かれています。
この本は2016年に"The arrival"という名前で映画化されました。
とてもいい映画なので皆さんにもぜひ見てほしいです!



石黒 優香里先生
おすすめ本

『生きていることを楽しんで』 ターシャ・テューダー / 著

「失敗や間違いを犯さない人はいない! 思い通りに
いかないことの連続かもしれないけれど、だからといって
あきらめてしまったら何も生まれない」と、
きっぱりと作者はなげかけています。

同じ時を過ごすなら、苦しみを楽しみに
変える努力を惜しんではいけないのだと
気づかされる作品でした。



北野 真理子先生
おすすめ本

『ぼくはイエローでホワイトで、 ちょっとブルー』 ブレイディ みかこ / 著

人種、貧困問題、さらにはジェンダーなど、
多種多様な問題に直面した中学生が、悩みながら
成長していく過程が描かれています。
中学生になり、自分と友達との違いが
気になるような時がありますよね。
多様性について、自分で考えてみる
ことのきっかけを与えてくれる本です。



上田 あゆみ先生
おすすめ本

『ダチョウはアホだが役に立つ』 塚本 康浩 / 著

「飼育されているダチョウは、自分を世話してくれる人の顔を
覚えなし、自分の家族(ダチョウ)の区別すらつけられない。」
こんな残念なダチョウですが、大げがさえも治す自己治癒力
を持ち、抗体を作る能力の高さはピカイチ!!

新型コロナウイルスを不活性化する
「ダチョウ抗体マスク」開発者の、
「ダチョウ愛」が詰まった一冊です。



ありがとうございました!

